



# ボランティア・かわらばん No.104

編集／発行：安城市ボランティア連絡協議会（安城市社会福祉協議会内）

〒446-0046 安城市赤松町大北 78-4 Tel-0566(77)2941、Fax-0566(73)0437

## 平成26年度ボランティア入門講座の開催

日時	テーマ
2月7日	高齢者と肢体不自由者・軽度知的障がい者の支援
2月14日	聴覚障がい者の支援
2月21日	視覚障がい者の支援
2月28日	地域活動などの紹介

ボランティア人口の拡大を目的に、2月7日から毎週土曜日全4回にわたり開催しました。

今年は高校生4名を含めた15名が、熱心に各種の講座を体験されました。防災や介護などボランティアの果たす役割が、より一層高まる今、各自に適したボランティア活動に取り組んで頂けることと思います。



## 第3回「西三河ボランティア連絡会」を安城市で開催

西三河ボランティア連絡会が3月10日（火）午後1時30分から、社会福祉会館で開催されました。

内容は、平成26年度事業報告、および決算報告、連絡会規約の改定、平成27年度役員の選出、各市町からの連絡事項がありました。

平成27年度会長は西尾市で、安城市は副会長を担当します。連絡会終了後、会長職および事務局の引き継ぎを行い終了しました。

## 西三河ボランティア連絡会・情報交換会に参加

1月17日（土）午後1時30分から、西三河ボランティア連絡会情報交換会が、幸田町民会館にて開催され、安城市は8名が参加しました。

「ボランティアを取り巻く環境が大きく変化しつつある現在、ボランティア団体が抱える高齢化による後継者不足について」をテーマに、参加者が4組に分かれワークショップとグループ発表を行いました。

各市町の取り組み状況や課題について意見交換しましたが、悩みは同じであり、さらに努力を続けることになりました。



## 第27回「愛善連」ボランティア交流会へ参加

1月23日(金)愛知県善意銀行連絡協議会ボランティア交流会が、西尾市総合福祉センターで行われました。

『災害に備える日常生活と支援について』をテーマにパネルディスカッションを行い安城市からは「防災ネット」「サークル\*くるくる」「防災ボランティアのぞみ」が参加し、全体で55名の方々と交流を深めました。

各市からは、日頃から近所との係わりの大切さや、肢体不自由者からは避難所での「マイトイレ」の重要性について提案され、午後は、お茶工場(あいや)を見学し、抹茶を飲みながら交流しました。



## 要援護者サポートブックの出前講座



ボランティア連絡協議会では災害時の要援護者支援の為、まずは共助の視点から同じ地域で暮らす高齢者や障がい者などに配慮した避難方法を「要援護者サポートブック」を用いて分かりやすく説明しています。

車いすでは名称や扱い方、特に危険な段差の実例を挙げながら「段差モデル」などを使い体験をしています。

1月18日(日)「日の出福祉委員会」は、けいかティサービスで24名が受講、1月24日(火)「赤

松町福祉委員会」は赤松町内会公民館で30名が受講、2月12日(木)「安城若者サポートセンター」は社会福祉会館で10名が受講、車いすによる避難方法を習得しました。

3月24日(火)「御幸福社委員会」は市民交流センターで開催し14名が受講されました。地震による高層住宅の停電を想定し、「車いす」及び「抱っこ紐」を使い階段を登り降りしました。

みなさん一様に「車いすに乗ってみると怖い! 抱っこ紐は重たい!」と胸中を吐露されました。

